

朝鮮労働党第8回大会とその成果

ナヘンドラ・カードカ

ネパール・チュチェ思想研究センター所長

朝鮮労働党は、朝鮮民主主義人民共和国（DPRK）の与党である。

朝鮮労働党は朝鮮民主主義人民共和国の与党であり、朝鮮革命と社会主義建設を指導し、朝鮮人民の圧倒的な支持を得ている。

朝鮮労働党は、朝鮮革命の偉大な指導者であり、民族の父である金日成同志によって創立された。

金日成同志によって創立され、親愛なる金正日同志によって継承され、現在は金正恩同志によって指導されている。

第8回党大会は、金正恩総書記によって盛大に開催された。

第8回党大会は、朝鮮労働党が統一された組織であり、社会主義建設のための闘争と帝国主義に反対する闘争を展開する能力があるという明確なメッセージを世界に向けて発信した。

歴史的な党大会とその意義

朝鮮労働党第8回大会の盛大な開催は、党創立75周年の直後に、党員・軍人・人民の大きな関心と期待・念願の中で行われた歴史的な催しであった。一方新型コロナウイルスの世界的な大流行の中で開催された大会には多くの参加があり、国内に新型コロナウイルスの感染者がないという朝鮮政府の主張を正当化することができた。

第8回党大会には、5,000人の代議員と2,000人のオブザーバーを含む7,000人が参加した。第8回党大会には、党の第7期中央委員会の指導部とメンバー、および各レベルの党組織から選出された代表が参加し、党、国家、その他の異なる組織からの代表が確認され、朝鮮社会のすべての分野の声が反映された。

また、朝鮮社会民主党中央委員会委員長、反帝国主義民族民主戦線平壤団長が招待者として参加したことで、第8回党大会は包括的な政治行事となり、朝鮮を包括的な社会にするための朝鮮労働党の役割を誇示するものとなった。

第8回党大会は、第7期中央委員会の活動の総括、第7期中央監査委員会の活動の総括、党規約の改正、第8期中央委員会の選出、金正恩同志の総書記への選出などで大きな成果を収めた。これらすべての議題と手続きにより、今回の大会は、朝鮮革命と朝鮮労働党そのものの歴史における注目すべき出来事となった。

第8回党大会は、朝鮮労働党の重要な組織・行事として、党の路線と朝鮮革命、社会主義建設、帝国主義・敵対勢力との闘争の課題について、新たな正しい方向性を明確に宣言した。また、国家の経済活動と責任者の義務を見直すことにも成功した。

第8回党大会は、今後の闘争で朝鮮革命がたどるべき道を決定し、社会主義の大義を次の段階の勝利に導くための党の確固たる自信を表明した。

党大会への報告

金正恩同志は党のトップとして、党大会への報告を行った。金正恩同志が9時間の審議を経て提出した報告書は、その長さや深さが想像に難くなく、議題が構造的に記述されていることがわかる。深く検討し、熱心に議論し、代議員たちの熱心な意見を受けて報告書を全会一致で承認したことは、党の一心同体を象徴する素晴らしい大会となった。

金正恩同志が発表した報告書は、朝鮮革命の外的・内的状況を明確に分析し、科学的な闘争路線と党と革命の発展の戦略的・戦術的課題を十分に反映していた。金正恩同志は、現代情勢の確かな分析に基づいて前途を照らし出した。報告書は次の4つの部分で構成されている。

1. コンセンサス期間中に達成された成果
2. 社会主義建設の躍進のために
3. 祖国の自主的統一と対外関係の発展のために
4. 党活動の強化と発展のために

第8回党大会では、この報告について議論し、第7回党大会以降の党活動と党の役割、中央委員会と指導部について詳しく分析した。

この5年間、朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国は、金日成主席と金正日総書記の偉大な業績を引き継ぎ、金正恩同志の賢明な指導のもとで数々の成果を上げてきた。

第8回党大会は、人民第一主義に基づく政治の重要性を強調し、この間、わが国家第一主義と人民第一主義に基づく政治がどのように実施されたかを分析した。

朝鮮労働党第8回党大会は、発展する革命の動向と情勢の科学的分析に基づいて、党の発展と社会建設を飛躍させるための新たな闘争路線と戦略・戦術方針を決定した。

第8回党大会は、社会主義建設、党建設、帝国主義勢力の抑止に向けた党と国家の成果を承認・称賛した。第8回党大会は、経済的課題の遂行、自然災害と世界的な新型コロナウイルス感染の克服における欠点と失敗を指摘し、これらの失敗から得られた教訓を把握した。

第8回党大会では、強い軍隊とともに豊かな国を作るという大義を実現し、人民第一主義に基づく政治を革命と建設のすべての分野にさらに徹底して適用することが議論された。また、社会主義建設の絶え間ない新しい勝利を達成するための闘争の正確な方向と使命を決定し、そのための実践的な措置を講じるとともに、軍事・核分野の発展と成果について討議し、武器・弾薬・核抑止力の発展について詳述した。

第8回党大会はまた、経済事業における国家の統一的指導と戦略的管理を強化するための革命的措置を講じ、経済分野における社会主義の原則を堅持することで、経済全体を再編して発展を保障する新たな可能性を探った。

第8回党大会で金正恩同志は、この間の経済・文化建設、国防建設、国家社会管理、作業部会事業策定などの欠陥と教訓を中心に、今後の新たな前進のための重要課題を提示した。また、国家経済発展5カ年戦略の実施状況と今後5年間の新たな展望計画について、厳格かつ詳細な分析を提示した。

第8回党大会では自力更生を重視し、朝鮮の革命的発展の必要性和社会主義建設の切実な要求を強調し、新展望期間の自力更生は国家的自力更生、計画的自力更生、科学的自力更生に発展しなければならないと提起した。第8回党大会で承認された主要経済部門の現状と発展に関する科学的分析と明確な方針は、自立経済の物質的・技術的基盤を固め、経済建設を可能にする。

報告では、農業生産量の増加によって食糧問題を断固として解決するための積極的な方策が進められた。農業分野の中心目標は、党がすでに提案した穀倉地帯を無条件に開拓し、農業の持続的発展のための物質的・技術的基礎を築くことである。

第8回党大会は、農業生産を拡大するために、種子革命、科学農業、低収穫地域での増産、新地発見と干潟開拓、農業・畜産・果物栽培の発展、農村経済の灌漑・機械化を重要な戦略課題とすることを正しく決定した。農業分野で掲げられた主要目標は、食料供給の自給率を確保し、社会主義建設を前進させるために、いかなる犠牲を払っても達成すべき最重要の国家的課題である。

第8回党大会では、朝鮮半島の民族統一が引き続き非常に重要な課題であり、状況を具体的に分析し、変化した状況に基づいて南北関係に対する朝鮮労働党の原則的な立場を明らかにした。

第8回党大会は、朝鮮労働党が人民第一主義を政治理念とする使命を忠実に守ってきたことを強調し、党活動を人民に服務する、現実結びついた活動に転換すべきであると断言した。第8回党大会は、人民に服務し、現実結びつく姿勢が党活動に真に適用されればされるほど、党全体が事実と真実に近づき、党の戦闘効率が高まることを強調した。

党指導部の選出

中央委員会と党指導部の選出は、党綱領を確定した後の党大会の主な任務である。第8回党大会では、新しい党中央委員会とその指導部が選出された。金正恩同志は、満場一致で総書記に選出された。

個人的に、またネパールの革命的人民を代表して、金正恩総書記に祝意を表し、朝鮮の社会主義建設、朝鮮の平和的統一、帝国主義勢力の敵対行為に対する輝かしい勝利のための闘争におけるわれわれの連帯を表明する。私は、金正恩総書記の先見性のある指導のもとで、朝鮮民主主義人民共和国の人民が一心団結の力で勝利を収めることを信じている。

人民の連帯万歳!

ネパールと朝鮮の友情万歳